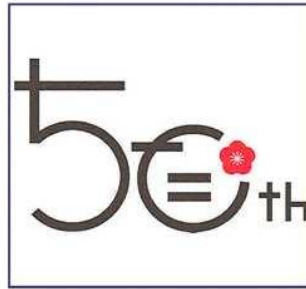


# 知多市ロゴ4作品に絞る

## 市内小中学生 投票で決定へ

来年の知多市制五十周年に向けて、記念のロゴマークを選定している市は、デザインに専攻科がある県内の五大学の学生が応募したロゴマーク案十八作品のうち、外部委員による審査で最終候補の四作品に絞り込んだ。九月上旬までに、市内の小中学生の投票で一つの案に決める。



「ちた」と「50」を合わせ、梅を添えた作品  
|| いずれも市提供



徐々に熟していく梅の実をあしらひ、未来への流れを表現する作品



「ちた」と「50」を笑顔で組み合わせ、おめでたい印象にした作品



人や自然のつながりをイメージして、「50」を華やかに表した作品

このうち五月に、愛知教育大や名古屋造形大、名古屋芸術大の学生たちが知多市を訪れて市内を回り、歴史や自然を知ってもらい、作品の参考にしてもらった。

最終候補の作品には、「ちた」や「50」、特産の梅などがあしらわれていた。最終決定では、未来の市の主役となる子どもたちに携わってもらおうと、市内

の小学校十校と中学校五校の児童・生徒七千二百人を対象に、夏休みから九月上旬にかけて、気に入った一点に各校で投票してもらい、十月二十六、二十七日に開催する市産業まつりで発表する。

(福本英司)